



# 谷原小だより 9月号

令和元年9月2日  
練馬区立谷原小学校  
校長 池上 育志

## 「東京オリンピック・パラリンピック一年前」

校長 池上 育志

長い夏休みが終わり、元気な子供たちの姿が学校に戻ってきました。重大な事故もなく様々な経験・体験を子供たちは重ねてきたものと思います。また、7月27日（土）には青少年育成谷原小校区委員会、PTA・青少年委員はじめ大勢の皆様のお力で盛大な夏まつりを開催していただき、本当にありがとうございました。数日前から発生していた台風の影響がどの程度になるのかということに大変気をもみましたが、予報などを慎重に検討していただいた結果無事に実施できました。関係の皆様のご努力に本当に感謝の気持ちでいっぱいです。お陰様で地域の大勢の子供たちにとって夏休みのよい思い出が一つ増えることとなりました。

さて、来年の今頃は東京2020オリンピックが終了し、東京2020パラリンピックの真っ最中ということになります。数多くの競技において、我が国代表選手のみならず参加国の様々な選手からいろいろな感動をもらっていることになるとと思います。

8月に入ってから種目によっては早くもオリンピック代表選手が決まりだしています。決定して来年に向けての抱負を語っている選手を拝見すると、ぜひとも頑張ってよりよい結果を残してほしいという思いになります。

ですが、毎回の大会で考えることがあります。願い叶わず出場できない選手の思いについてです。現在世界大会などに日本代表として出場している選手の方々は、オリンピックでの出場人数が限られているだけに、自分自身が選ばれるために必死な思いで試合に臨まれています。望みが叶う方もいれば、残念ながら、望みが遠ざかる方もいます。このように考えると「努力は報われる」は一部の人だけであって、本当なのかと疑いたくもなります。

「努力は報われる」私はこの言葉は真実であると考えます。大切なことは自分自身が一生懸命、努力をし、自分自身に自信をもつことだと思います。努力はその人にとって、真実であり、努力をできたことが大切であると私は考えます。もちろん、祈願成就で全て叶ってほしいものですが、オリンピック出場や金メダル獲得は、そうもいかないことも事実です。しかし、叶わぬ時に折れない心を鍛えることがしっかりした努力にはあると信じます。だからこそ、夢に向けて努力をしてほしいと考えます。間違いなく自分自身を伸ばすことだからです。

本校では一人一人の子供たちが、来年の大会に向けて夏休み前に自分の手形を取り、その中に応援メッセージを記しました。練馬区全体の取り組みの一つです。

2学期も子供たち各自が学期のめあてを明確にして、自分自身の今もっている力を様々な面でどんどん伸ばして行ってほしいと思います。今学期も本校の教育にご理解ご協力のほど、よろしくお願いたします。

# 1学期の生活アンケートから

教務主幹 野島 泰一

1学期末に学校生活を振り返るということで、保護者の方と児童にアンケートを実施しました。(家庭数 584 の内、回答いただいた数は 402 回収率約 69%でした。) ご協力に感謝いたします。概ね肯定的な評価をいただきました。アンケート項目のうち、保護者と児童の共通項目についてお知らせします。

項目	保護者 (%)	児童 (%)
分かりやすい授業が行われているか	8 4	9 2
家庭学習の習慣が身に付いているか	8 7	8 4
<b>読書の習慣が付いているか</b>	<b>5 8</b>	<b>7 7</b>
落ち着いた学校生活となっているか	8 5	8 7
思いやりのある子供に育っているか	8 5	8 6
<b>すすんで挨拶しているか</b>	<b>6 0</b>	<b>8 0</b>
家庭や地域のきまりを守っているか	8 9	9 1
早寝早起き朝ごはんなどの生活習慣が身に付いているか	8 9	8 6
<b>危険から身を守る力が付いたか</b>	<b>7 3</b>	<b>8 7</b>
<b>地域への親しみをもっているか</b>	<b>6 2</b>	<b>8 9</b>

保護者と児童の項目で、「読書の習慣」「挨拶」「危険から身を守る」「地域への親しみ」の差が 10 ポイント以上になっています。

## 「読書について」

本校では、朝読書や読書旬間などの取り組みを進めています。児童は、学校では読書をするという習慣が付いていると判断しています。一方、保護者の方は、ご家庭内での習慣が付いていないと思われるようです。学校での読書指導を学校だけでなく、家庭でもすすんで読書するような指導が必要であると考えます。

## 「挨拶について」

これも、児童は学校内では挨拶をしているという意識が高いためこのような結果が出ているのだと推察します。学校内では教職員に対して自分から先に挨拶をしている児童もいますが、残念ながらこちらから挨拶をしても返してくれなかったり、こちらから挨拶をしないと挨拶をしてくれなかったりという児童も少なくありません。教職員が挨拶指導の在り方を再考し、一致した指導をするようにします。保護者の方におかれましては、引き続きお子さんに対して挨拶やその重要性について伝えていただきたいと思えます。

## 「危険から身を守る力について」

毎月の避難訓練、交通安全教室、自転車安全教室、セーフティ教室などで事故や災害、不審者からの身の守り方を学んでいます。加えて、猛暑などによる熱中症対策など、これまで以上に児童を取り巻く自然環境への安全管理を行っています。安全管理についての対策と同様に、児童が自ら考え、適切な行動・対処をとれるような安全指導の充実も図りたいと考えています。ご家庭で、災害時の対応など話されていると思いますが、定期的に家族会議などを開いて危険予測、危険察知の力を育むことも大切です。引き続き各ご家庭でも危険察知などへのご指導をよろしく願いいたします。

## 「地域への親しみについて」

学校は地域の宝と言われるように、谷原小も地域の方に愛されています。照姫まつりや夏まつり、もちつき集会、標語による児童の健全育成など、多くの面でご支援をいただいております。保護者の皆様や PTA 役員、青少年育成谷原小校区委員会、学校応援団、各町会など多くの方々が谷原っ子のために力を惜しまず支えてくださっていることを改めて児童に伝えます。学校と地域がより一体になれるよう保護者の方のご支援もお願いいたします。

## 副籍交流

特別支援コーディネーター 阿部 裕子

副籍制度は東京都教育委員会が平成19年度から導入している制度で、「都立特別支援学校の小・中学部が、居住する地域の小・中学校（普通学級）に副次的な籍（副籍）をもち、直接的な交流（一部の授業や学校行事に参加）や間接的な交流（お便りの交換、掲示物で紹介）を通じて、居住する地域とのつながりを維持・継続を図る制度」です。この交流活動で、学区域に住んでいる障害のある児童と障害のない児童の相互理解が進むことで、一人一人を大切に共に支え合う地域社会を主体的に築いていこうとする「心の教育」を目指しています。

今年度、谷原小学校では、大泉特別支援学校の2名の児童と副籍交流をしています。1名が直接交流、もう1名が間接交流です。どちらの児童も谷原っ子と同じ地域に住み、生活をしています。校内における副籍交流を通して、知り合った友達の名前や顔をお互いが知ることで、学校の外で会ったときも挨拶や言葉を交わし合ったり、地域活動に誘ったりと日常の中でも関わりがもてると嬉しいです。



## 夏季水泳指導について

水泳担当 平嶋 美鈴

今年度の夏季水泳は天候にも恵まれ13回中11回実施することができました。特に前半は大勢の谷原っ子が参加し、中学年では140人を超える日もあり、プールは大賑わいでした。教員と外部の指導員も含め安全に留意しながら水泳指導を進めました。

夏季水泳では、1・2年生、3・4年生、5・6年生と一緒にプールで学習を行います。下級生にとって、上級生は身近な目標となります。また、上級生にとっても、下級生の存在があることで粘り強く頑張ることができ、お互いによい学びの機会となっています。また、今年度は検定日を3回設けました。

どの学年も、自分の目標の級に向けて懸命に練習し、検定に挑戦する姿が見られました。

夏休みに培った泳力と粘り強さを生かして、9月からの水泳の学習でも、さらに自分の目標を達成して欲しいと思います。



1・2年生が水慣れをしています

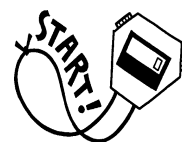
## 連合水泳記録会

体育部 二宮 裕貴

毎年6年生が参加します。今年の会場は北原小学校です。北原小、光和小、谷原小の3校連合で行われ、一人一人が6年間努力した泳力を確認し、充実感を味わうための記録会です。子供たちは、「25m自由形・平泳ぎ」「50m自由形・平泳ぎ」「100m自由形・平泳ぎ」から1種目出場します。また、50m×4の学校対抗リレーには代表選手が男女2チームずつ出場します。

今年は、9月5日（木）に行われ、予備日は6日（金）です。低学年の先生方も記録会運営の手伝いに出ますので、時程の変更があります。本日配布の別紙プリントをご確認ください。

なお、保護者の参観はできませんのでご承知おきください。  
※6年生は、熱中症予防のため水筒の用意をお願いいたします。



# 9月の予定

日	曜	予定
1	日	
2	月	2学期始業式 5時間授業 給食始 専科授業始
3	火	健康の日 計測くすのき
4	水	安全指導 計測6年
5	木	連合水泳記録会6年(北原小) 計測5年
6	金	連合水泳記録会予備日
7	土	
8	日	
9	月	委員会⑤ 計測4年
10	火	計測3年 移動教室説明会5年
11	水	計測2年 研究授業くすのき 研究会のため4時間授業
12	木	計測1年
13	金	移動教室事前検診6年
14	土	学校公開 特別時程 防災訓練 水泳指導終 情報モラル教室5年
15	日	
16	月	敬老の日 
17	火	岩井移動教室6年
18	水	給食体験会
19	木	
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	秋分の日
24	火	ふれあい環境学習4年
25	水	
26	木	遠足3年
27	金	部活動体験6年 清掃工場見学4年
28	土	
29	日	
30	月	委員会⑥

## 令和元年度 学校保健委員会 報告

養護教諭 小松 羽月

7月23日(火)に、学校保健委員会を開催しました。学校保健委員会は、学校医、保護者及び教職員が学校保健についての理解と認識を深め、児童の健康について共に考える場です。内容の一部を、以下の通りご報告いたします。

### 【定期健康診断の結果報告】

3年男子と6年女子の体格は、都の平均と比べ大きめ。肥満傾向の児童はどの学年にもいる。アレルギー疾患は、服薬でコントロールできている児童が多い。むし歯は男女ともに少なく、歯周疾患もない。視力は、1.0未満の割合が35%を超え、都の平均を上回った。眼鏡をかけても、十分な視力が保たれていない中・高学年が多い。(養護教諭 小松)

### 【日常の児童の様子について】

目についての実態調査では、2・4年生に比べて、6年生が「テレビやゲームをする時間を決めていない」と、多く回答した。目のために気を付けていることは「部屋の明るさ」や「景色を見て目を休める」と、答えた児童が多かった。このことから、自分の生活習慣が目に与える影響を知り、高学年になるまでに、自分の健康を自分で管理する力を身に付ける必要がある。(3年1組担任 富田)

### 【学校医の指導・助言】

・移動教室の時に酔い止め薬を持参する児童が多い。三半規管の発達を促すためにも、鉄棒や滑り台など外遊びをさせたい。睡眠は、長さよりも質のよい睡眠を取ることが重要。休日に多く寝る子は、睡眠不足。

(内科校医 野口先生)

・成長期には近視が進むことがある。年に1回は検診を受けることが望ましい。近視の進行は1日2時間以上の外遊びで抑止できる。また、ゲームやテレビは1時間毎に休憩を取るように。画面が小さいほど目に負担が大きく、最近ではスマホによる急性内斜視が起こることが分かった。使用を控えることで治る。10分に1回2秒間、外に目を向けるだけでも違う。

(眼科校医 宮本先生)

・谷原小はよい歯である。歯周病は、関心が薄れる中高生になって急に増え始める。「歯と口に関するポスターコンクール」では、3名が入賞した。(特賞、優秀賞、歯科医師会賞)。来年度も積極的に応募してほしい。

(歯科校医 浅田先生)

・環境衛生検査の結果はすべて良好、基準値内であった。和室のダニも思ったより少なかった。換気については、暖房の時期は空気がスムーズに循環するが、夏場は少し窓を開けただけでは空気が循環しない。CO2濃度を下げするためには、エアコンを使用中であっても、休み時間は窓と廊下側のドアをしっかりと開けて、空気の総入れ替えが必要になる。

(薬剤師 若井先生)